氷見市

氷見市は、富山県の北西部、能登半島の基部に位置し、東西18.16㎞、南北21.92㎞、面積230.54㎢で、東は、有磯海と呼ばれる富山湾に面しています。

海岸線一帯は、能登半島国定公園に指定されており、白砂青松の松田江の長浜から灘浦海岸まで、変化に富んだ海岸美を見せてくれます。

晴れた条件の良い日には、富山湾に浮かぶようにそびえる立山連峰の雄大なパノラマが眺望できます。気候は雪国にあっても比較的温暖であり、県下でも暮らしやすい地域です。

交通面では、北陸新幹線やＪＲ氷見線、能越自動車道や国道１６０号、国道４１５号の整備が進み、高速バスの運行などにより広域的な利便性が高まってきています。氷見漁港には、四季を通じて、全国ブランドの「ひみ寒ぶり」や初夏のマグロなど、多種多様な魚が水揚げされます。

里山の幸も、太陽の恵みを浴びたはさがけ米、品質の高い氷見牛、ハトムギなど豊富。　食材を生かした６次産業化にも取り組んでいて、豊かな食文化を育んでいます。

企業版ふるさと納税プロジェクト

氷見市は、若者や女性をはじめ多様な世代の方が
いきいきと住み、働き、子育てできる地域づくりに取り組みます

１．住みたい街をかなえる事業

- 若者・女性のふるさとでの定着やUターンの促進、多様な関係人口やスポーツ・芸術・文化等を通じた交流人口の拡大などによる氷見市への移住・定住の促進を目指します。
- また、国土強靭化の推進など安全で安心して暮らせる基盤の充実、未来技術の活用による持続可能な地域社会の体制づくりをはじめとして、未病対策、介護予防対策などいきいきと暮らし続けられる健康づくりを推進します。

２．働きたい街をかなえる事業

- エネルギーの地産地消によるゼロカーボンシティへの挑戦や地場産品等の地域内消費の促進など市内経済活動の規模拡大を目指します。
- また、海・里・山の魅力を生かした観光振興及び産業振興、農林水産業をはじめとした産業人材の確保・育成を推進します。

３．育てたい街をかなえる事業

- 縁結び事業による出会いの場の創出など結婚の希望をかなえ、子どもを中心として多様な家族が幸せを実感できる生活の実現をします。不妊治療の女性や包括的な相談体制の構築により妊娠・出産に関わる経済的・精神的負担を軽減します。
- また、多様な家庭に対するきめ細やかな支援、子どもの健やかな成長を育む保育の充実、子どもが安心して遊べる環境の整備など子育てしたいまち日本一を目指します。

企業版ふるさと納税
詳細はこちら　▶▶▶